

青森山田、聖愛 東北大会切符 3位決定戦へ

青森県 春季高校野球 第4日

春季青森県高校野球選手権第4日(28日)、六戸町メイプルスタジアムで準決勝を実施し、工大一と八

光星は敗れた。両校は3位決定戦に回し、東北大会出場の一枠を懸けて戦う。青森山田と弘学聖愛が決勝に進み、東北大会の切符を手にした。工大一は先制したが、その後は得点差を奪えず、青森山田に競り負けた。光星は終盤に7点を奪う追い上げを見せたが、聖愛に及ばなかった。

【試合速報】
▽準決勝
青森山田4-2 工大一
弘学聖愛9-1 八光星

きのこの結果

▽準決勝
青森山田4-2 工大一
弘学聖愛9-1 八光星

きよの試合
工大一 八光星 10:00
▽決勝
青森山田 弘学聖愛 12:30

光星猛追も届かず

【評】聖愛は一回2死、二塁から須崎の二塁打で2点を先制した。その後着実に加勢し、1点差に迫られた八回は暴投、工藤の三塁打と成田の適時打で4点を奪いリードを広げた。

中盤までの失点響く

○後半に得点を重ね、一屈かす惜敗した光星。攻守の逆転を狙ったが、わずかに一打が發揮できなかった。逆転を狙ったが、わずかに一打が發揮できなかった。



六回まで安打は散発4本。聖愛の須崎末太の力のある打球を任留め切れず、スコアボードに0が並んだ。七回に敵失に安打を絡めて4点を返し、八回は満塁から吉田大樹の右中間2塁打で一気に3点を返した。驚異的な追い上げだったが、確実に点を重ねた聖愛には及ばなかった。高めの球をこごとく打たれ、八回途中8失点を降板した先発成田太一は「気持ちも弱く、体力もなかった」と悔しさをにじませた。東北大会出場を懸けた3位決定戦に向け、自分のできることを精いっぱいやるだけ」と気持ちを切り替えていた。

【弘学聖愛 八光星】3回、光星の先発成田太一が聖愛の成田龍星に本塁打を打たれる。